

島 隆寛さん(43)

県中小企業家同友会代表理事



19 参院選とくしま
経済界の声

③

会員企業である中小企業はここ数年、急激な採用難に直面し、人材不足が深刻化している。人口減に加え、県内には魅力のある企業は多いが、学生らは一般消費者向けの商品などで名の知られている

会社や、大企業への就職を求め、県外に人材が流れてしまっているのが実情だ。
また、働き方改革への対応もある。年次有給休暇5日以上取得など、人手不足の中でいっそうの生産性向上を迫られている。
積極的に設備投資を行い、給与水準が高くなり、良い就業環境が用意できる大企業に人が集約されれば、確かに生産性は上がるだろう。しかし、大企業も元をたどれば中小企業。中小企業や起業を支援する

地域経済活性化

人材不足解消へ施策を

施策の必要性を忘れてはならない。

具体的に必要な施策としては、採用マッチング、求職者や失職者の能力開発へのサポート、事業承継にかかる税負担の軽減、中小企業が経営者保証がなく金融機関から借り入れができる環境づくりなどが挙げられる。

消費税増税では、景気の腰折れを防ぐ対策やレジシステム変更などへの補助はもちろんだが、元請け側の大企業が優越的地位を乱用して下請けが不利益をかぶらないよう、目を光らせてほしい。

(聞き手 佐藤陽香)